

张海

発行所

大阪市史跡
龍溪禪師墓所 灵龜山 九島院

〒550-0022 大阪市西区本田3丁目4番18号
TEL 06(6583)2725 FAX 06(6583)0908

発行者 第二十五世住職 奥田啓知(智證)

小泉首相は九月の任期切れを前に、国会の会期延長をしないと言明しました。耐震偽装事件の偽メール問題で空転したあげく、重要法案はことごとく廃案続審議になりそうです。「遺失物法改正案」もその一つで、同案が可決成立すると、「迷い犬」「迷い猫」は同法の適用外となり、殺処分が増加する懸念がありました。

従来は拾得物として警察が二週間程度預かっていましたが、改正後は、動物愛護法に基づき都道府県扱いになり、地方自治体が管理する「保健所」が預かることとなります。

大阪では、警察に保護された七割の犬猫が、飼い主に返還されていますが、保健所ではその保管期間について何の記載がなく、狂犬予防法による各自治体の条例で、たいていの都道府県は二、三日の公示後飼い主が現れなければ殺処分にされます。

愛犬家・愛猫家にとつては、ペットは家族の一員で、何にも

小泉首相は九月の任期切れを前に、国会の会期延長をしないと言明しました。耐震偽装事件の偽メール問題で空転したあげく、重要法案はことごとく廃案

かえがたく必死に探ししますが、二、三日では探し当てることは不可能で、その意味でも同法改正案の不成立は歓迎するところです。

最近、「ペット葬」が流行っていますが、キリスト教では考えられないそうです。
S・フィナテリ神父は、日本にやつて来て、ある婦人から犬のためにミサ（葬儀）をささげてやつてくれと要請され、驚いたと書いています。

「死者ミサはラテン語でレクレイエム・ミサ（鎮魂ミサ・追悼ミサ）といい、亡くなつた人の命日にするが、それは亡くなつた「人」のためであり、愛犬のためというのは前代未聞だった・・（略）・・ミサは『靈魂の安息』のためのもので、犬にはこうした『靈魂』は存在しない、理論的にも「犬のためのミサ」は成り立たない」（S・フィナテリ神父著『キリスト教の常識』）

仏教は、一切衆生、悉有仏性（涅槃經）——生きとし生ける

もの、すべてに仏性があると教えています。犬など畜生も人間と同じ存在で、六道輪廻といつて、天界・人界・阿修羅界畜生界・餓鬼界・地獄界を、生前の行いによつて車輪の輪のようになに、生まれかわり死にかわるとされていります。

人間も動物も、ともに迷いの存在であり、輪廻の存在なのです。ひよつとして、死後、畜生に再生しないともかぎらないのです。だから、キリスト教徒から残酷だと誇（そし）りを受けても、われわれ日本人は自分の手で動物の生命を奪うことを躊躇してしまうため「命あれば生きよ。」と野良犬にしてしまうのかもしれません。

しかし、動物愛護の精神からは、犬、猫などペットを飼つたら以上、最後まで責任をとらねばならぬ事は言う迄もありません。

A simple black and white line drawing of a dog sitting down, facing left. The dog has a large head with a prominent nose, floppy ears, and a bushy tail. Its body is composed of thick, simple lines.

お寺が栄えることは檀信徒の皆様の喜びであつ



晩年の老師

稀代の禪僧 沢木興道老師は、当院の坐禅会で、大正の始めより、昭和三十九年まで実際に五十年の永きにわたりご指導を賜りました。

老師は曹洞宗の方ですが、先々代住職榮忠和尚が二十二歳、明治四十四年に、志あつて法隆寺勸学院へ入学したおりに知遇を得ました。老師は和尚より十歳年上でした。

勸学院は、宗派をこえ各地から大勢の学僧があつまる仏教学の最高学府でした。同じ禪僧として、妙心寺派の僧と榮忠、老師と期せずして、禪三派トリオ（老師が名付け）ができました。

當時、九島院は第十二代の省己和尚が老齢のため住職を辞す考え方であり、榮忠和尚は僅か一月ばかりの在学でありましたが、帰坊するにあたりました。老師に「沢木君、坐禅もよいがいつまでも引っ込んでいたり、外へ出て坐禅会をやってみてはどうか」と勧めました。老師はいろいろ思案したあげく、遂に外へ出る決心をされました。これが老師が生涯を通した「移動叢林」のはじめであります。

「名もいらん、金もいらん寺もいらん、妻もいらん、道のためになれば飢え死にするまでのことじや」と常々いわれ、「宿なし興道」として、身を捨てて生涯を仏祖正伝の只管打坐をひろめる菩薩道に生きられました。

ある時、老師は大きな木箱をもつて来院されました。蓋には「黄蘗木菴和尚鉄鉢」とあり、「これは熊本の古道具

猫地蔵 — 火難よけに靈験 —

檀家某家が玄関に祀っておられたものです。近所では「猫地蔵」といって親しまれています。本年6月7日、縁あって「甦龍の楠」の樹下に移設し奉安することとなりました。

某家の婆さんが、大の愛猫家で、隣家が火事のとき、愛猫が襖を搔きむしり、寝ている婆さんを起こしたため、九死に一生を得たそうです。愛猫の死



後、そのご恩い慰靈のため建立したそうです。火難よけ霊験あるとか、是非お参りください。

九島院人物列伝③

興道老大師と九島院 —稀代の禅僧宿なし興道—

屋で見つけ大切にしていたが
これは九島院へやるべき筋の
ものだと、かねてより考えて
いた」と言われました。今で
も当院の寺宝として大切にし
ています。

老師はある時、「駒大に黄
檗関係の学生がいるが、なか
なか熱心な学生がいる。あれ
はきっと大したものになるよ
林という学生だ」といわれま
した。彼こそ、黄檗第五十九
代管長の林文照猊下（本年四
月二十五日遷化・享年八十五
歳）でした。猊下には、先代
弘忠和尚の津葬（寺葬）の導
師に来て頂きました。

昭和三十八年六月、「宿な
し興道」の名を遂に返上され
京都北の鷹峰の安泰寺に引退

閑栖されました。当院とのご法愛の謝礼をかねて、先代弘忠和尚がお見舞いに行つたところ、老師が常に口にされた「弘忠さんよ、あれを見よ」の鷹峰の見える一室に通され、自然は広大だ。人間のやつていることは知れたものだ。あの鷹峰はいつも、こうしてわたしを見下ろして「興道や、興道や」と言つてくれているよ」と言われそうです。

幣師、弘忠和尚は老師に大いに影響を受けられ、執着心とは無縁なお方でした。破れ衣を着けていても、全く気にせず、悠悠自適の晩年を過ごされました。おかげで九島院の再建という大仕事は小柄の生涯の課題となりました。



○水道小屋の新築
昨年の新堂穂積和尚の仏前結婚式に際しては、大勢の方々より過分のお祝いを頂戴いたしました。ご祝儀の一部で、墓地水道小屋の新築工事に使わせていただきました。小さなお堂かと見まがう立派なものができました。

○天光塔改修費一括
大本山塔頭の萬松院には、當院ご開山龍溪禪師の墓（文化財）といいます。お墓は天光塔（重が斐）の土間が傷んできましたが、天光塔改修工事を施工することになりました。その九十九級功業昇で院工わで部要ある、

利用の便を考え、水道栓を二基にし、排水溝も新設しました。線香やマッチは戸棚にありますので、ご利用下さい。

いろいろ置かれる方がありますが、美観上、お寺で設置しているものを共同でご使用し、私物は置かないようお願いしますが『洗塵（せんじん）』と刻書した横額（住職書）を掲げました。これは、洒水偈（浮世のちり）を淨めるお經に「衆生業垢離するとき、冷水などをあびて、少しでも紅塵（浮世のちり）をご先祖まいりによつてほしい願いを込めてほし」と舞いによる汚れを洗います。

第12回修養会ご案内

本年は大仏巡拝の三回目です。穂積和尚の結婚式のため次回まわしとなった彦根大仏です。

彦根大仏は黄檗宗のお寺で、濟福寺といって1丈6尺（5.5メートル）の延命地蔵菩薩がご本尊です。その胎内には11代藩主直中が夢のお告げにより寄進した胎内佛「安産地蔵尊」が祀られ、子宝・安産の祈願寺として信仰を集めています。その他、龍潭寺（井伊家の菩提寺）で庭園・襖絵が拝観します。

是非、お誘いの上ご参加下さい！

募集要項

- 日 時 11月3日（文化の日） 9時集合出発
- 集合場所 九島院より貸し切りバスに乗車
- 旅 程 九島院 — 濟福寺（JR） — 彦根城（食事・観光） — 龍潭寺（JR） — 九島院（5時解散予定）
- 会 費 1万円（食事・拝観料込・当日徴収）
- 募集人員 40名（満員になり次第締め切り）
- ※先着順です。申し込みは、当院（☎06-6583-2725）出発日の半月前に確認書をご郵送します。



○ホームページ開設

穂積和尚が勉強してくれ、九島院ホームページを開設しました。まだ稚拙なものですがご覧下さい。

○無縁墓地の整理

昨夏公示しました無縁墓地の整理工事を今秋から始めます。該当の墓碑でご存じの方があればお知らせ下さい。

ホームページアドレス

<http://www.kyutouin.or.jp>

にて現在取得中。7月中旬以降に上記アドレスにて九島院ホームページがオープン予定です。

「開山龍溪禪師の喜び、誰よりも御本尊の喜びです！」
格し堂主になりました。

編集後記

法事の功德

お檀家の奥さんがブログ（インターネット上の公開日記）で『兄弟会』と題して、以下の記事を載せておられました。

母の17回忌が私の家でありました。17年前、お経の本を棒読みしておられた現在の住職が、月参りの時の声より、今や堂々と、さらに朗々と唱えられたのには、本当に驚き、感動しました。先代和尚今の和尚、若和尚とお勤めしてきて頂いた事を思うと、時の流れを強く感じます。

母の亡きあと一週間毎集まっていたのが、一周忌が過ぎ、次が2年後と思うと、何となく淋しく、それで、1年に2回ぐらい、兄弟会という形にして、集まることにしました。

連帯感というか、同胞意識というか、そういうものを、お互いに確認しあうよい機会になります。兄弟仲良くというのが母の教えでしたから、離れて身を案じているより、集まり、互いに楽しい会話を盛り上がる、これが一番よい形だと思います。（略）

ご法事は、故人をしのぶ追善供養ですが、同時に故人さまが、身内や縁につながる人々が一同に会す機会を与えてくださいます。

法要の儀礼のあと、会食（お齋一おとき）をいただきながら、故人を偲びつつ、和気あいあいと懇親を深める。それこそ、故人が願っておられるでしょう。

回忌法要が契機となって、兄弟会やいとこ会をもたれることは、何よりも故人さまの供養になります。

二子山親方の一周年では、若・貴兄弟も氷解の兆しがあったそうで、それこそ、法事の功德といえるのではないでしょうか。



水灯会・お施餓鬼法要

8月19日（土）

午後1時半より

※ご先祖供養です。宗旨に関係ありません
ご回向お申し込み下さい。

法 話 • 住 職

ご
案
内

▼道路交通法改正による駐車違反取り締まりの民間委託がスタートしました。六月一日の開始以来、五日間に全国で五千五百五件の摘発がありました。初日は九百六十五件でしたが、五日目には千八百八件が摘発されたそうです。

▼初日の用心も、いつまでも続きました。事故の減少は結構なことですが、それでも駐車してければならない

いときは本当に困ってしまいます。先日、金剛山にある「日本ライトハウス」でのボランティアデーに、わが家の引退犬ブーマを連れて恐妻！？ともに参加しました。

▼多くのパピー犬、キャラリアチエンジ犬、引退犬がボランティアに連れられ五月晴れのもとに集い、楽しい一時をもちました。

▼「わあ、よく似ている！」「兄弟かな？」、「可愛い！」・・犬も人間も久しぶりに逢った同窓会のようで、あちらこちらで話がはずみました。

▼引退犬は、盲導犬として視聴覚障害

者のかなり、滅私奉公？勤めをはたした犬のこと。余生はゆつたりと過ごさせてやるのが、ボランティアの仕事です。でも、それは老犬のこと、わが家のブーマはまだまだ五歳。もと盲導犬という誇りもかなぐり捨て、今や、餓鬼のごとき、食い意地のはつたペットになりました。

▼安きに流れるのは人も同じこと、弟ともども初心を忘れずにいたいものになります。

墓地管理費のご納付をお願いします。
墓参の折り、郵便振込でも結構です。